

北海道高等学校 PTA 連合会石狩支部

11月16日(土)、令和元年度「高校生と語るつどい事業」を実施しました。前日までは暴風雪の警報が出ていましたが当日は晴天で、北広島高校にJR千歳線沿線の5校、60名の方々にご参集いただきました。参加者の構成は、生徒が32名、保護者が17名、教員が10名で、生徒3名・保護者2名・教員1名の6名で10のグループをつくりました。「ルックバックネーム」、「二者択一」のゲームをとおして自己紹介を行い、グループ内の話しやすい雰囲気が醸造されていきました。

この日のテーマは「ローン・クレジットを上手に利用するために」で、講師にはSMBC



コンシューマーファイナンス株式会社札幌お客様サービスプラザの武田顕子様をお招きし、講義と、ワールドカフェ方式の話し合いをしました。

ローン、クレジット、契約、信用といった金融の基本的な知識について講師から説明があり、それぞれのキーワードについて、日常生活でどのように関わっているかをグループ内異世代間の意見交換をしていきました。

更に、ものを購入した際の様々な返済方法とその違いは何かを

明らかにして、それぞれの方法のメリットとデメリットを話し合いました。一括、分割、リボルビングなど聞いたことのある言葉でも、それぞれの違いや特性について理解・比較するのは簡単ではなく、各グループからの質問が相次ぎました。生徒、保護者、教員が身ぶり手ぶりを使いつつ、活発に意見交換を行い、会場は熱気を帯びていました。

インターネットの急速な普及にともなって、現金を使用しない取引(キャッシュレス)が普及、促進されています。消費環境の大きな変化が現在進行中で、金融の様々なはたらきを理解して自分にふさわしいものはどれなのかを主体的に選んでいくことが必要になってきています。

世代を超えた熱い討論が制限時間いっぱいまで続き、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けての意義あるひとときとなりました。



参加校

北広島西

恵庭北

千歳

千歳北陽

北広島

